



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市西総合スポーツセンター
 試合区分：成年女子 1回戦
 開催期日：2009年10月2日（金）
 開始時間：13:30

GAME No. 1002B3

主審：中埜 弘幸
 副審：加藤 隆史

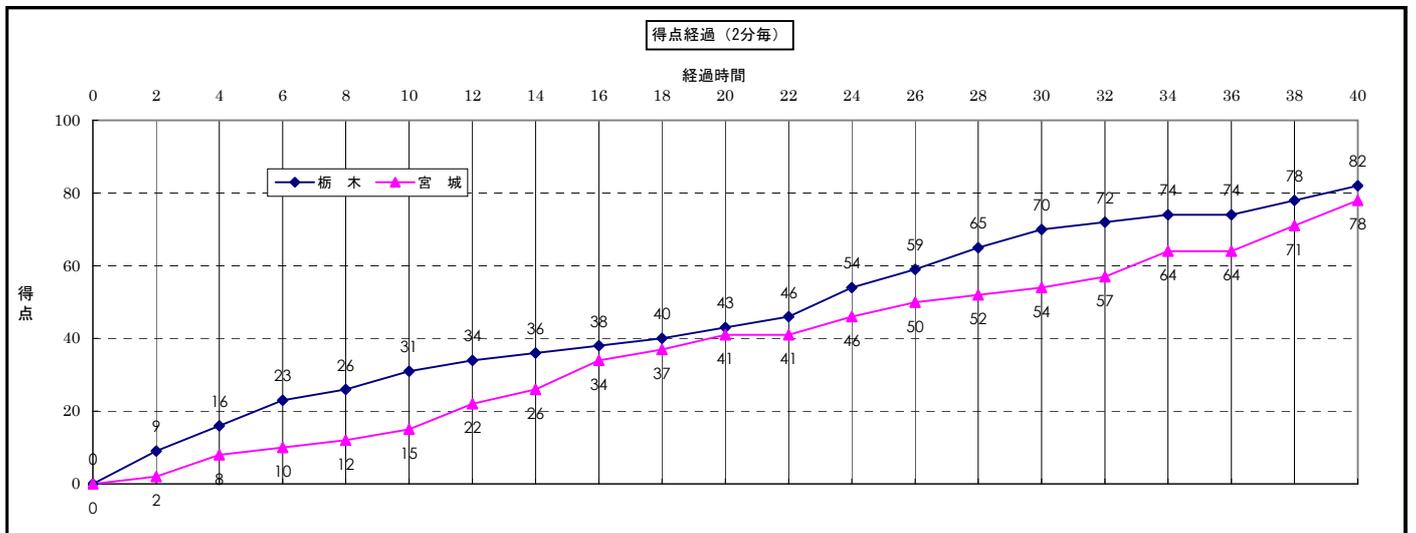
Team A	○	31 -1st- 15 12 -2nd- 26 27 -3rd- 13 12 -4th- 24	●	Team B
栃木	82		78	宮城

TEAM A		栃木					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		藤井 美紀	0	0	0	0	1
5		田中 亜季	0	0	0	0	0
6		柚木 恵子	9	1	3	0	0
7	*	柴原 麻理恵	2	0	1	0	5
8	*	牧原 小枝	20	5	1	3	2
9	*	永野 友香里	15	0	7	1	2
10		久谷 央	0	0	0	0	0
11	*	宮崎 優子	13	3	2	0	0
12	*	上原 希莉子	21	2	5	5	4
13		明智 令育	2	0	1	0	1
14		塚田 麻衣	0	0	0	0	0
15							
Coach		佐藤 智信					0
TOTAL			82	11	20	9	15

TEAM B		宮城					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		長岡 浩子	6	0	2	2	2
5		岩田 祥子	7	0	2	3	1
6		齋藤 佳子	3	1	0	0	1
7		山谷 美架	3	0	1	1	2
8	*	大橋 由実	4	0	2	0	3
9		黒澤 彩香	4	0	2	0	0
10		川崎 結衣	6	0	3	0	3
11	*	押切 奈々	8	1	2	1	3
12	*	相澤 妹佳	6	0	3	0	1
13	*	中山 美穂	24	6	3	0	1
14	*	大場 綾子	7	1	2	0	2
15							
Coach		佐々木 桂二					0
TOTAL			78	9	22	7	19

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	22:44	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	15:52	19:56	38:32	38:49		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、宮城ハーフコートマンツーマンディフェンス、栃木オールコートマンツーマンディフェンスでスタート。開始1分、栃木#12上原が連続3Pシュート、レイアップシュートを沈め主導権を握る。立ち上がり硬さのみえる宮城は栃木の厳しいプレッシャーディフェンスに思うように得点が伸びず、開始5分でオールメンバーチェンジするも、ミスが続く。勢いに乗る栃木は#13明智のリバウンドシュートなどでリードを広げ、31対15で1Qを終えた。

2Q、追いつきたい宮城は、ディフェンスリバウンドを頑張り速攻へつなげ、#11押切、#12相澤、#13中山が立て続けに得点。残り3分、37対38の1点差まで詰め寄るが、栃木は、#6柚木が3Pシュートを決めるなど逆転を許さず、43対41栃木リードで前半を終える。

3Q、後半になると再び栃木のオールコートマンツーマンディフェンスが機能し、宮城は得点が伸び悩む。この間に栃木は、#8牧原、#11宮崎が6本もの3Pシュートを決める。宮城もオールメンバーチェンジをし、#8大橋のインサイドプレーなどで流れを変えようとするが、栃木の勢いは止まらず70対54と栃木がリードを大きく広げ3Qを終える。

4Q、後がない宮城はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、プレッシャーを強める。これが功を奏し栃木の得点が止まる。その間、#14大場のレイアップシュートや#10川崎のリバウンドシュートなどで点差を縮め、残り1分、78対71の7点差まで詰め寄るものの栃木#6柚木の連続得点を許してしまい逆転ができない。逆転を狙う宮城は、その後も2度のタイムアウトをとり必死の追い上げを計るが、栃木#12上原が危なげなくボールをキープし、タイムアップ。82対78で栃木が初戦を突破した。

記載責任者 大谷 大 (所属) 新潟県バスケットボール協会